

小松市教育目標

生涯学習時代にふさわしく、人間愛を礎とし、自発的に学び、文化を創造し、思いやりの心を持った、明るく元気あふれる市民の実現をめざす。

第1章 自然に親しみ、人間愛を育てる

1. 人権を尊重し、敬愛と感謝の心を育てよう
2. 自然や限りある資源を大切に、住みよい環境をつくろう
3. 社会参画をすすめて、市民としての自覚を高めよう

第2章 健やかな心と体を育てる。

1. かけがえのない命を大切にしよう
2. スポーツやレクリエーションに親しみ、健康増進につとめよう
3. 忍耐力を培い、自立の心を育てよう

第3章 高い知性と創造性を育てる

1. 自ら学ぶ意欲を養い、思考力と表現力を育てよう
2. 科学的な探求心を深め、正しい判断力を育てよう
3. 歴史と伝統を重んじ、文化の継承と創造につとめよう

第4章 広い視野に立って、郷土愛を育てる

1. ふるさに親しみ、豊かな情操を育てよう
2. 勤労と奉仕を重んじ、連帯感を深めよう
3. 広く海外との交流をはかり、国際性を高めよう

平成23年度 学校経営計画及び学校評価計画書

小松市立第一小学校
学校長 森本 栄史

1 経営理念

第一小学校は、豊かな心と確かな学力を持った児童の成長をめざし、地域・保護者から信頼される学校をめざす。そのためには、児童が学び合い、主体的に活動し合う姿があり、教職員の授業改善と研鑽に励む姿があり、心が安定できる安全な教育環境がある学校づくりに努めていく。

2 教育目標

心身ともに健康で、学ぶ意欲と認め合う心を持った、豊かな実践力のある児童を育成する。

3 中・長期経営目標

(1) 学校の現状

- ① 児童の「学力の向上」「関わる力の向上」「体力の向上」を課題とし、丁寧な分析と改善に向けた具体的な取り組みが求められる。
- ② 個々の児童の理解と的確な支援を課題とする。とりわけ、特別支援教育および帰国・外国人児童教育の推進が求められる。

(2) 児童に関する目標 校訓「いちのこ」を基盤として、学習・諸活動に次の視点を持って取り組む

- ① 「い」いきいきと学ぶ子（学 び）…… 意欲を持って学習に参加し、成就感をもつ学びの姿
- ② 「ち」力を合わせる子（関わり）…… 自他を認め、場に応じた行動と表現をしてよりよく関わり合う姿
- ③ 「の」のびのびと育つ子（健 康）…… 心身ともに健康で活発に行動する姿
- ④ 「こ」こまつを愛する子（郷土愛）…… 学校を、郷土を、そしてこまつを愛する姿

(3) 教職員・学校組織等の望ましいありかた

- ① 〈学 ぶ 組 織〉児童の成長を引き出すべく、積極的な研修と充実した授業に心がける。
- ② 〈協働する組織〉各部・各学年において提案力と実践力を持ち、組織体として効果的な機能を発揮していく。
- ③ 〈開かれた組織〉情報交換や共同・連携を密にして、家庭・地域との信頼関係を築く。

4 短期経営目標（今年度の重点目標）

① 組織的な学校運営

全職員が提案力を持ち、企画会議に集約されることによって、学校経営への参画意識を高める。また学習環境整備、危機管理、エコスクールの実施について組織的な点検や取り組みを行い、向上を図る。

② 確かな学力の育成

算数を中心とした授業改善の研究成果を生かし、各種調査の結果分析も踏まえて学力の向上を図る。

③ 豊かな心の育成

あたたかい人間関係づくりをめざしながら、校舎改築に関わる諸活動を通して愛校心・郷土愛を核とした心の育成を図る。また学年にふさわしい読書をする児童を増やす。

④ 健やかな体の育成

健康・安全について総合的・系統的な指導を行い、効果をあげる。またコーディネーショントレーニングを取り入れて体力の向上を図る。食育についても計画的に取り組む。

⑤ 家庭・地域との連携

あいさつやコミュニケーションの輪を広げる指導を重視する。またPTA、ボランティア・地域の先生との連携を密にし、相互理解及び学習活動・安全対策への支援向上を図る。